

1F階高：3400.0
2F階高：3300.0
3F階高：3300.0
4F階高：3300.0

1時間耐火

柱頭柱脚金物対応表

断面	接合部
150x150	B'5a
150x180	B'518a
150x240	B'524a
150x360	B'536a
180x180	B'8a
210x210	B'21a

梁端部金物対応表

断面	梁端部金物
150x180	JM1518
150x240	JM1524
150x300	JM1530
150x360	JM1536
160x240	JM1824
160x300	JM1830
210x210	JM2121

KES120仕様

指定なき梁の樹種は唐松集成対称異等級E95-F270

指定なき束は150×150(唐松集成対称異等級E95-F270)

指定なき平柱の樹種は唐松集成対称異等級E95-F270

--- は水平ブレース SV16

はブレース V1-180×180(唐松集成対称異等級E95-F270)

はブレース V2-180×240(唐松集成対称異等級E95-F270)

はブレース V3-180×300(唐松集成対称異等級E95-F270)

はブレース V4-210×210(唐松集成対称異等級E95-F270)

はブレース V5-210×480(唐松集成対称異等級E95-F270)

はブレース V6-210×600(唐松集成対称異等級E95-F270)

指定なき柱頭柱脚金物は、柱頭柱脚金物対応表を参照

小梁を除く指定なき梁端部金物は、梁端部金物対応表を参照

根太2-45×120は45×120(杉製材)2材合わせ

耐力壁凡例 は耐力壁位置を示す

凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
	5.0倍	<真壁側> 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	外周部・中通り CE20/150mm以下 受材65mm×60mm以上 N90/100mm以下	
	2.5倍	<大壁側> 2.5倍(合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用合板 14(OSB) 9.9mm	外周部・中通り CE20/150mm以下 受材65mm×60mm以上 N90/200mm以下	
	2.5倍	<真壁側> 2.5倍(合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用合板 14(OSB) 9.9mm	外周部・中通り CE20/150mm以下 受材65mm×60mm以上 N90/200mm以下	

※石膏ボードの真壁・床下の受材は厚付30mm×60mm以上 釘N75/200mm以下留めとする。

※すべての仕様は床・壁・天井どちらでも対応可とする。

KESコネクター凡例

柱番号と コネクター記号	柱通しの場合	梁通しの場合	梁記号と コネクター記号

1F階高：3400.0
2F階高：3300.0
3F階高：3300.0
4F階高：3300.0

柱頭柱脚金物対応表

断面	接合部
150x150	B'5a
150x180	B'518a
150x240	B'524a
150x360	B'536a
180x180	B'8a
210x210	B'21a

梁端部金物対応表

断面	梁端部金物
150x180	JM1518
150x240	JM1524
150x300	JM1530
150x360	JM1536
180x240	JM1824
210x210	JM2121
210x300	JM2130

KES120仕様

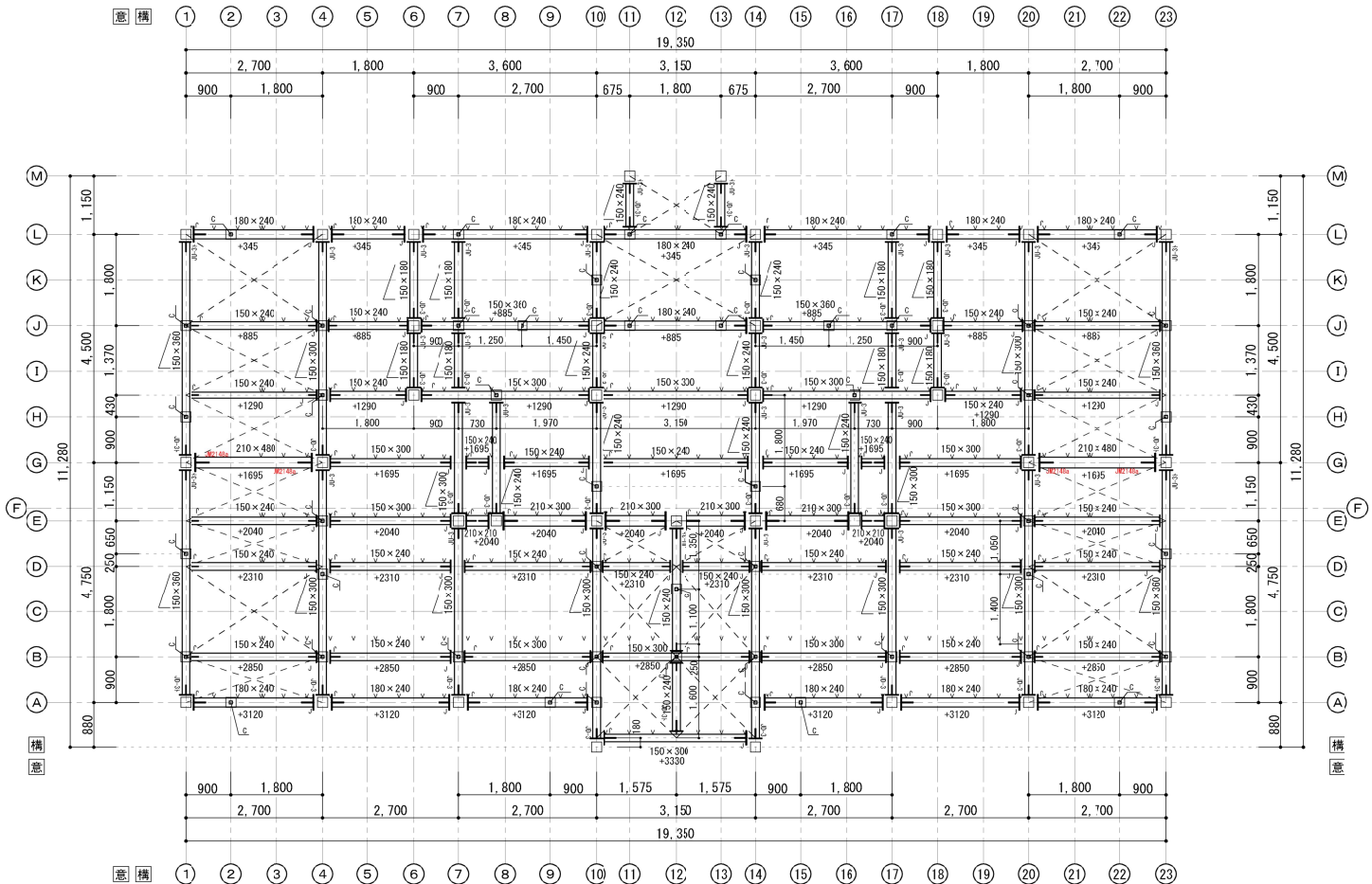
指定なき梁の樹種は唐松集成材等級E95-F270

--- は水平ブレース SV16

はきり梁を示す

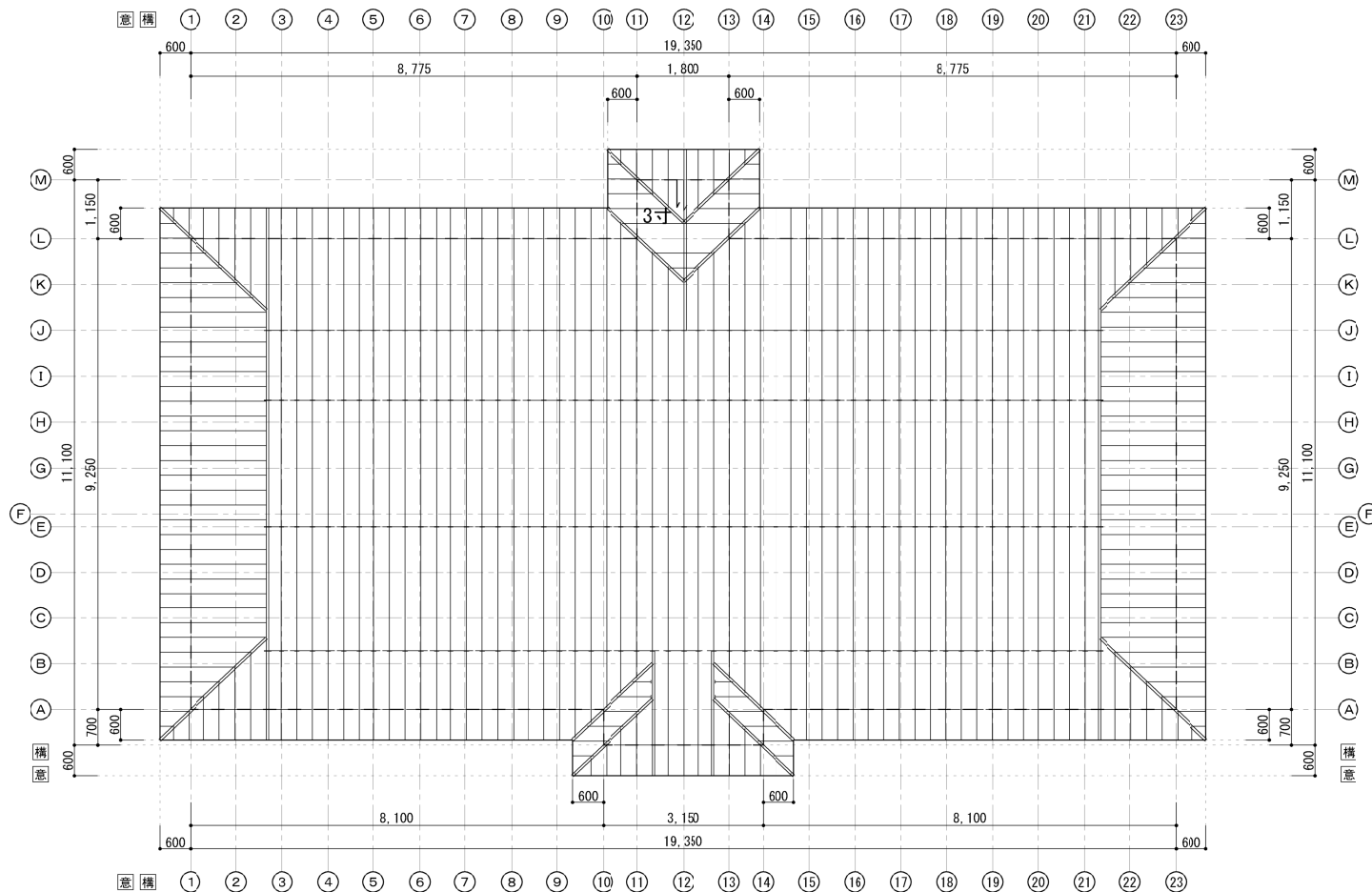
指定なき柱頭柱脚金物は、柱頭柱脚金物対応表を参照

小梁を除く指定なき梁端部金物は、梁端部金物対応表を参照



KESコネクター凡例

柱記号とコネクター記号	柱通しの場合	梁通しの場合	梁記号とコネクター記号



1F階高：3400.0
2F階高：3300.0
3F階高：3300.0
4F階高：3300.0

1時間耐火
野地合板 910×1820×12mm
釘：CN508150川型

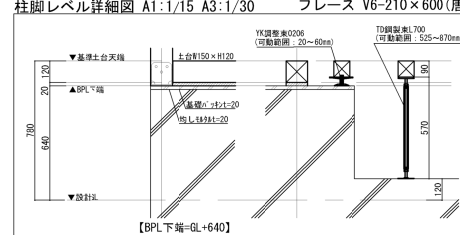
KES120仕様
垂木は45×120@303.33(杉製材)
ケラハ 垂木45×120は軒先から@303.33(杉製材)
ケラハ 補強材は2-45×120(杉製材)
3寸勾配は斜材ハッピン有り

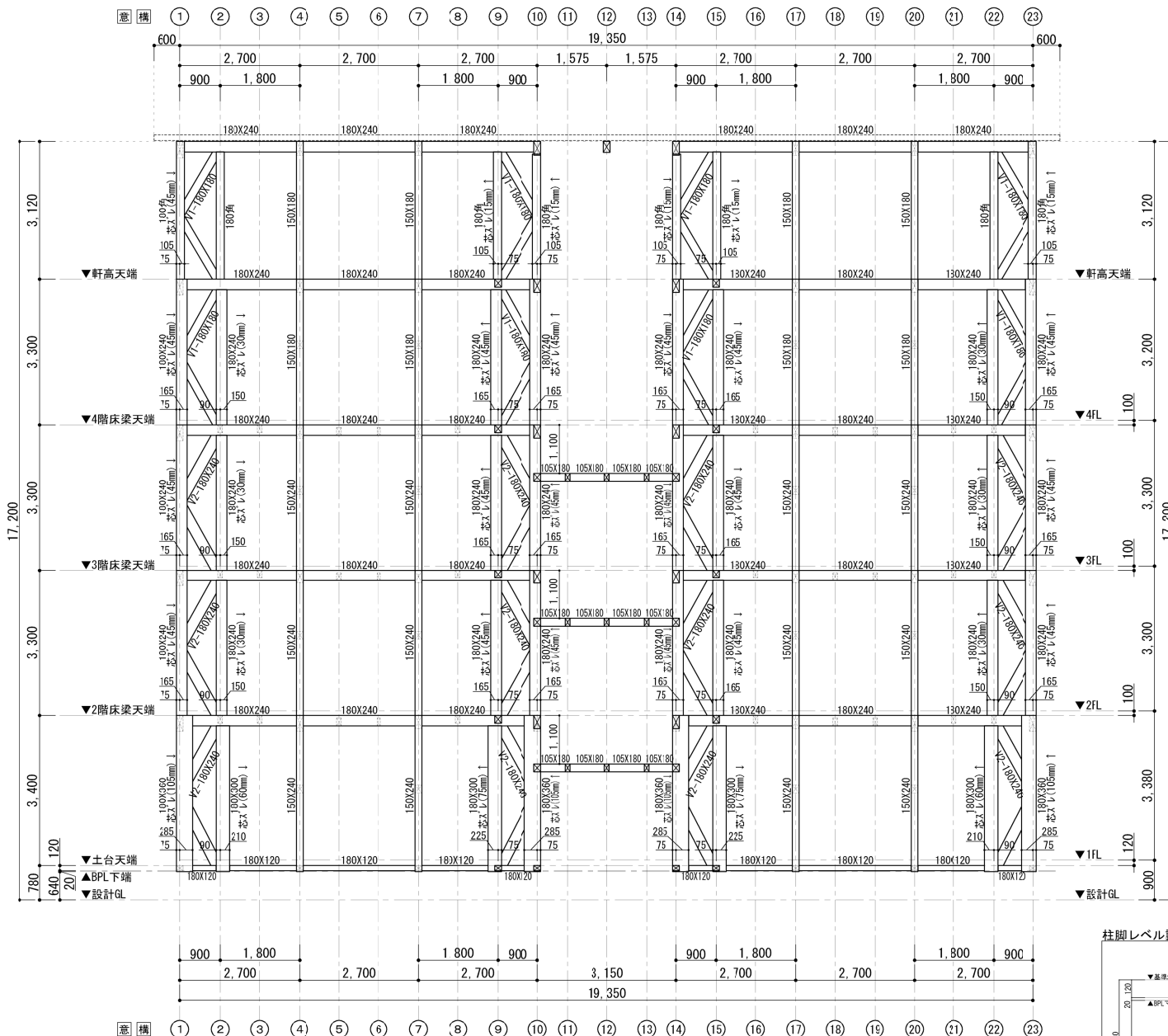
特 記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS			登録建築士 一級建築士登録 2754483	設 計	製 図	検 査	設計NO.	名 称	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所			高橋 潤				規尺 A 1/50 A 3/100	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事	S-23
												屋根伏図	



※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらも対応可とする。

KES120仕様
 指定なき土台はW150×H120（桧製材）
 指定なき大引は90×90×900（桧製材）
 指定なき柱・小屋束は150×150（唐松集成材対称異等級E95-F270）
 指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
 指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
 垂木は45×120@303.33（杉製材）
 ㊦㊦ 垂木45×120は軒外から㊦303.33（杉製材）
 ㊦㊦ 補強材は2-45×120（杉製材）
 ㊦㊦ 1-180は㊦㊦㊦㊦㊦有
 プレース 1-300×150×120（唐松集成材対称異等級E95-F270）
 プレース V2-180×240（唐松集成材対称異等級E95-F270）
 プレース V3-180×300（唐松集成材対称異等級E95-F270）
 プレース V4-210×210（唐松集成材対称異等級E95-F270）
 プレース V5-210×400（唐松集成材対称異等級E95-F270）
 プレース V6-210×680（唐松集成材対称異等級E95-F270）



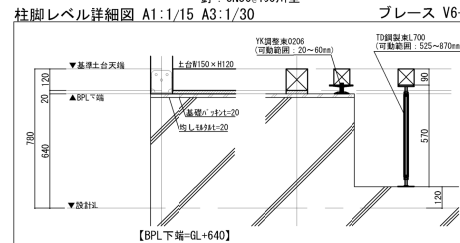


構造軸組図 (A通り)

耐力壁凡例	凡例	壁倍率	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
1F	▽3.6	13.6倍	1F <大壁部> 6.77倍 <大壁部> 6.60倍	構造用合板 12mm	※高倍率割方壁詳細図参照	断面図例 12mm
1F	▽2.9	12.5倍	1F <大壁部> 6.25倍 <大壁部> 6.09倍	構造用合板 12mm	※高倍率割方壁詳細図参照	断面図例 12mm
1F	▽0.9	10.1倍	1F <大壁部> 6.77倍 <真壁部> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率割方壁詳細図参照	断面図例 12mm
1F	▽1.7	9.1倍	1F <大壁部> 5.80倍 <真壁部> 3.3倍	構造用合板 12mm	※高倍率割方壁詳細図参照	断面図例 12mm
7.0倍	▽0.9	7.0倍	<大壁部> 3.3倍 <真壁部> 3.3倍	構造用合板 12mm	外周部 CN50/F5mm以下 中塗り CN50/150mm以下 受材45mm×60mm以上 N50/60mm以下	断面図例 12mm
6.6倍	▽0.9	6.6倍	<大壁部> 3.3倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	外周部 CN50/F5mm以下 中塗り CN50/150mm以下 受材45mm×60mm以上 N50/60mm以下	断面図例 12mm
5.0倍	▽0.9	5.0倍	<大壁部> 2.5倍 <真壁部> 2.5倍	構造用合板 12mm	外周部・中塗り CN50/150mm以下 受材45mm×60mm以上 N50/100mm以下	断面図例 12mm
5.0倍	▽0.9	5.0倍	<大壁部> 2.5倍 ※両面真壁	構造用合板 12mm	外周部・中塗り CN50/150mm以下 受材45mm×60mm以上 N50/100mm以下	断面図例 12mm
2.5倍	▽0.9	2.5倍	<大壁部> 2.5倍	構造用合板 12mm	外周部・中塗り CN50/150mm以下 受材45mm×60mm以上 N50/200mm以下	断面図例 12mm
2.5倍	▽0.9	2.5倍	<真壁部> 2.5倍	構造用合板 12mm	外周部・中塗り CN50/150mm以下 受材45mm×60mm以上 N50/200mm以下	断面図例 12mm

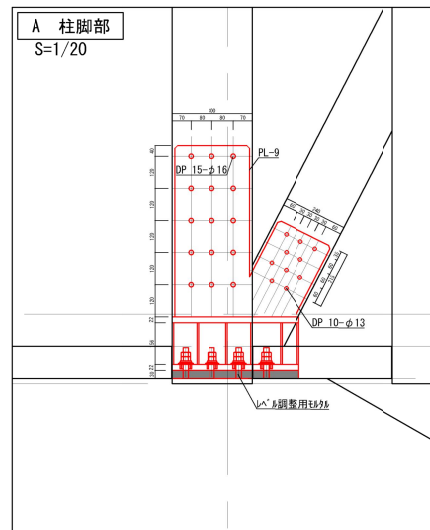
※石膏ボードの真壁・床壁の受材は貫付30mm×60mm以上
※すべての仕様の床壁・壁壁どちらにも対応可とする。

- 1F階高：3400.0
2F階高：3300.0
3F階高：3300.0
4F階高：3300.0
- 1時間耐火
- 壁合板 910×1820×12mm
- 基礎パッキン 厚さ20mm
- 小梁タイプ
- 床合板 910×1820×24mm
- 釘：N75#150川型
釘：CN75#150日型、N75#150川型
野地合板 910×1820×12mm
釘：CN50#150川型
釘：A1:1/15 A3:1/30
- KES120仕様
指定なき土台はW150×H120 (桧製材)
指定なき大引は90×90@900 (桧製材)
指定なき柱・小屋束は150×150 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
指定なき平柱の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303.33 (杉製材)
ケラ 垂木45×120は軒先から@303.33 (杉製材)
ケラ 補強材は2-45×120 (杉製材)
3寸勾配はケラパッキン有り
ブレース V1-180×180 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V2-180×240 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V3-180×300 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V4-210×210 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V5-210×480 (唐松集成材対称異等級E95-F270)
ブレース V6-210×600 (唐松集成材対称異等級E95-F270)





構造軸組図 (A通り)



屋根葺きの仕様

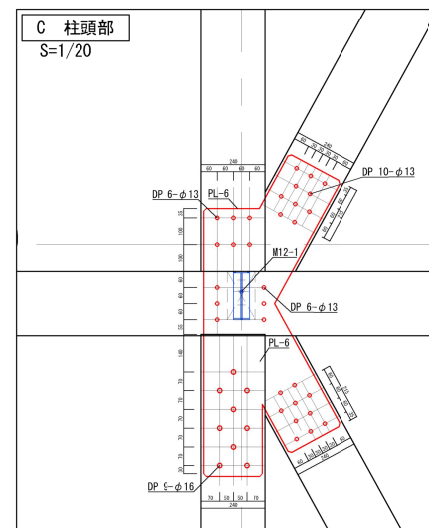
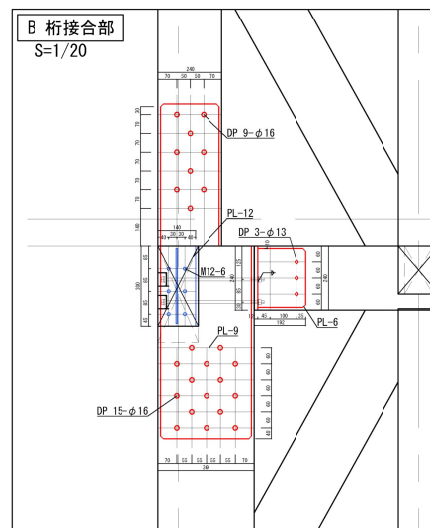
ガルバリウム鋼板葺き
はげの間隔 455mm
吊子の間隔 250mm (1箇所釘2本留め)
釘の使用 N50 18本/㎡

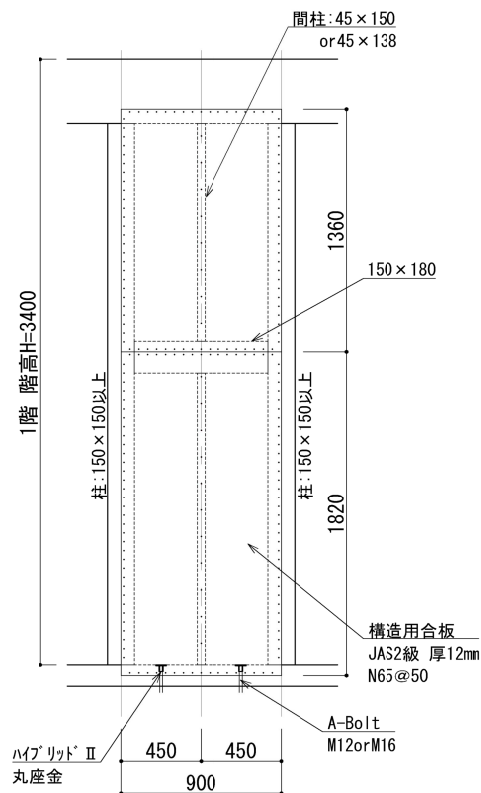
使用部材・防腐防蟻について

軸組みに使用している柱・土台はJASで規定されている
耐久性区分D11に分類される樹種の構造用集成材・製材を使用している。
(柱＝唐松集成、土台＝桧製材)
(外部合板施工後、防水紙を貼る)
防腐・防蟻については木質工事特記仕様書に記載通り。

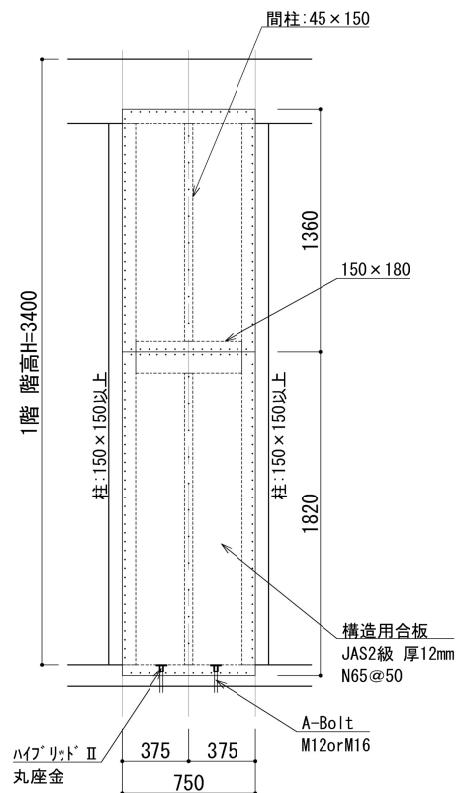
柱の有効細長比について

[柱150×150] $\lambda = Lk/i$
 $i = \sqrt{I/A} = 3.873$
1階 $\lambda : 316.0\text{cm}/3.873\text{cm} = 81.59 < 150$ よってOK
2階 $\lambda : 306.0\text{cm}/3.873\text{cm} = 79.01 < 150$ よってOK
3階 $\lambda : 306.0\text{cm}/3.873\text{cm} = 79.01 < 150$ よってOK
4階 $\lambda : 306.0\text{cm}/3.873\text{cm} = 79.01 < 150$ よってOK

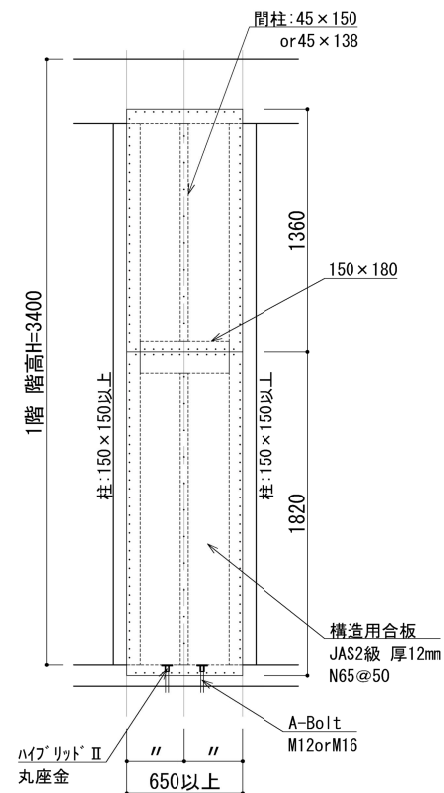




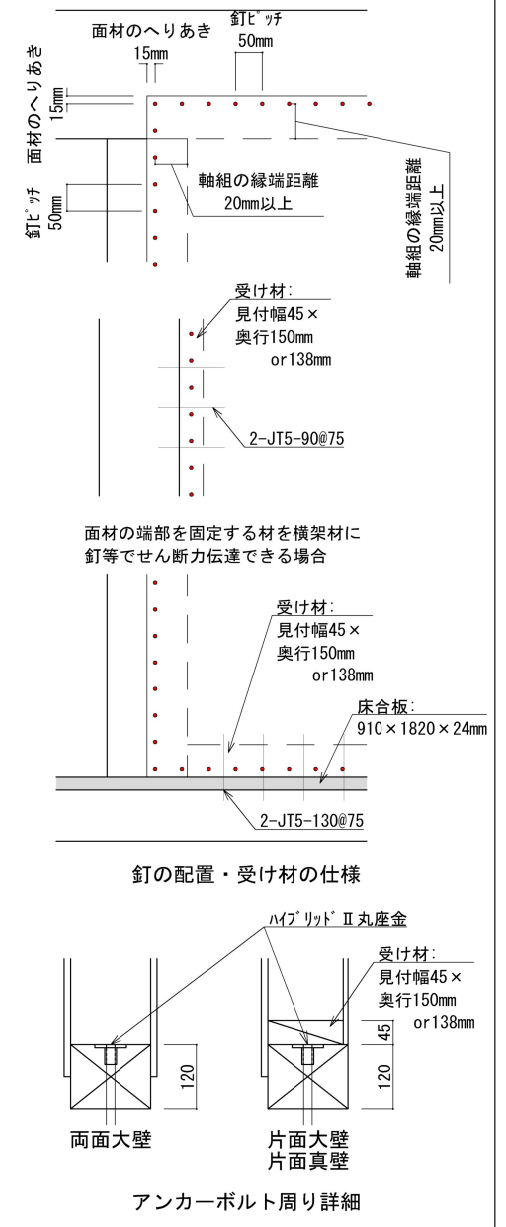
両面: 13.6倍
片面: 6.77倍
※6.77倍+3.3倍=10.1倍

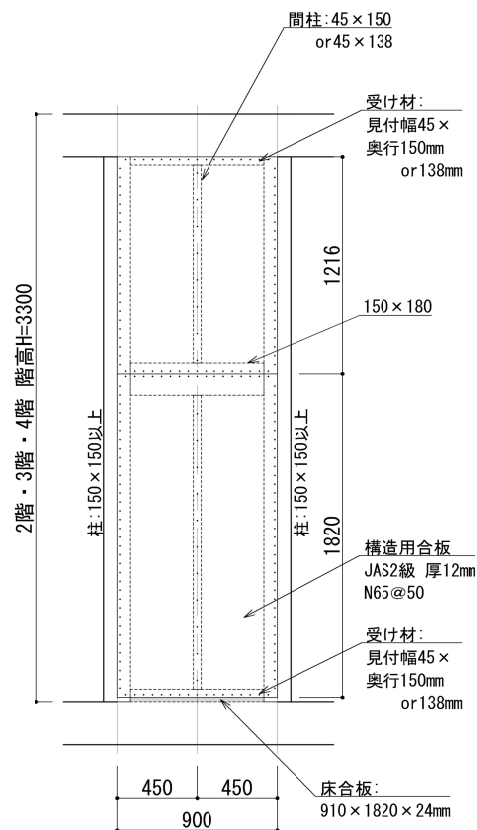


両面: 12.5倍
片面: 6.25倍

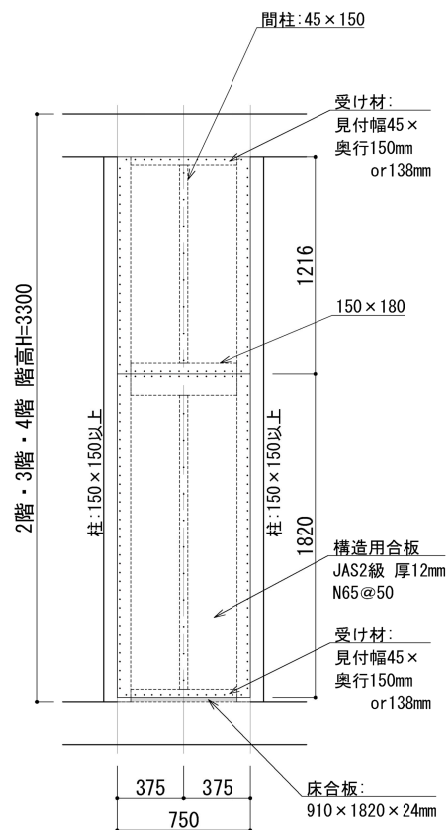


両面: 11.6倍(※該当無し)
片面: 5.8倍
※5.8倍+3.3倍=9.1倍

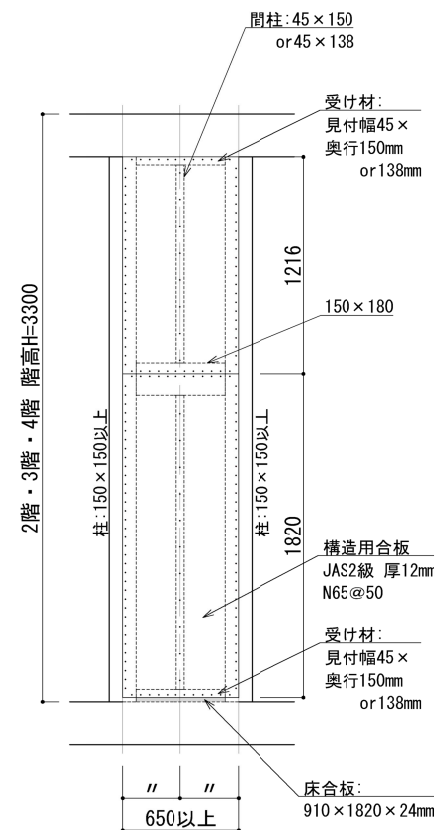




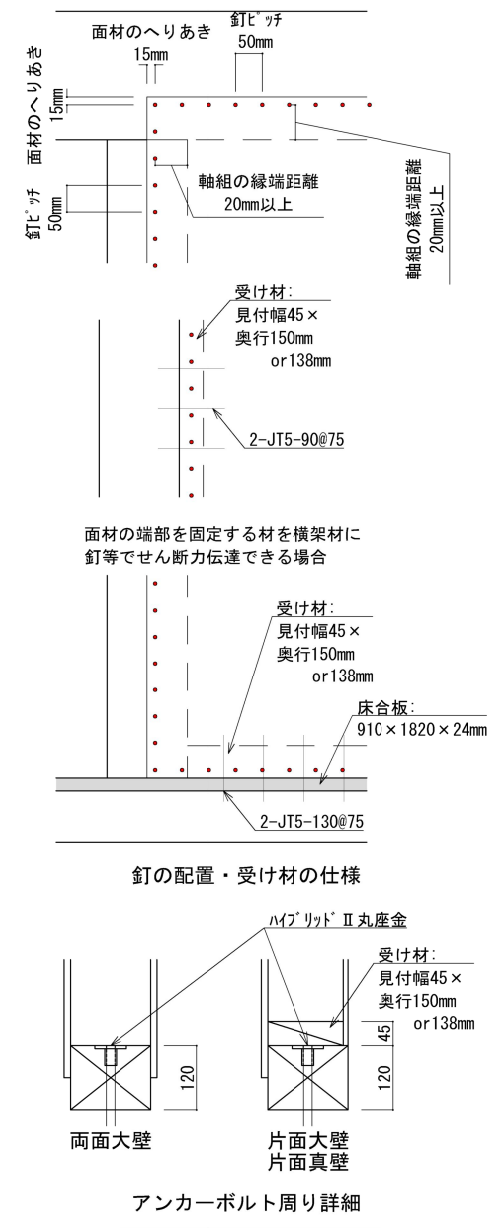
両面: 13.2倍
片面: 6.60倍
※6.60倍+3.3倍=9.9倍



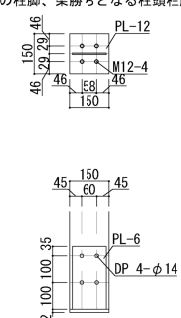
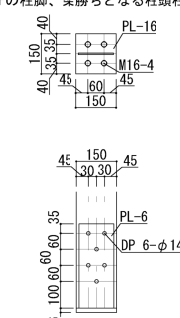
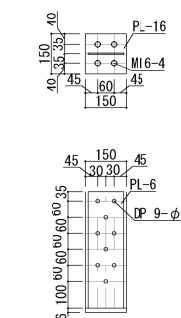
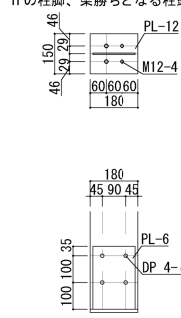
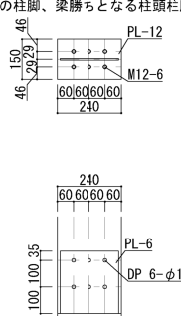
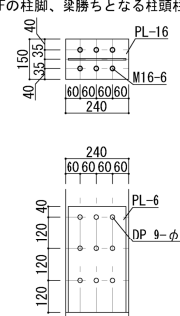
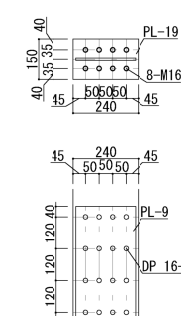
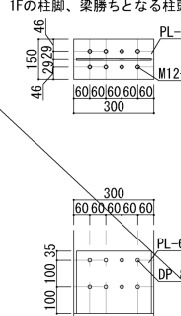
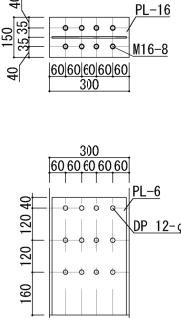
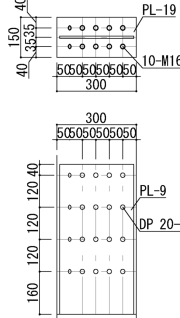
両面: 12.2倍
片面: 6.09倍

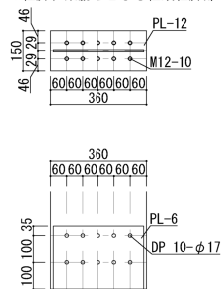
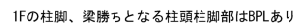


両面: 11.3倍 (※該当無し)
片面: 5.66倍
※5.66倍+3.3倍=9.0倍

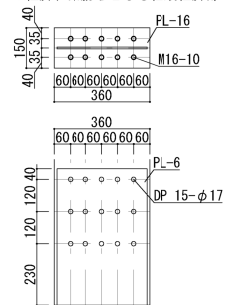
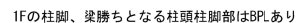


特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理建築士 一級建築士登録 275483	設計	製図	検定	設計NO.	名称	図面名	図面NO.
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋潤				設計NO. A 7-34/15 A 3-51/38	会津森林管理署南会津支署南会津宿舎新築工事	高耐力壁詳細図 2	S-35

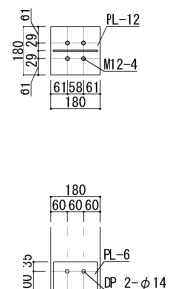
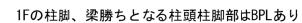
1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B15a	1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B15b	 B15c	1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B1518a																												
1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B1524a	1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B1524b	 B1524c	1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B1530a																												
1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B1530b	 B1530c	■共通事項 ・接合部材の材質はSS400とする。 ・ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。 ・各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。 ・ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合具配置の距離・間隔に準拠する。 ・特記なき限り、部材両端の接合部は同じものを使用する。																													
<table><tr><td>特記</td><td>測量年月日</td><td>作成年月日</td><td>訂正年月日</td><td>TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS</td><td>管理監理士 一級建築士登録 275483</td><td>設計</td><td>製図</td><td>検査</td><td>設計NO.</td><td>名称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事</td><td>図面NO.</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2">株式会社 高橋建築設計事務所</td><td rowspan="2">高橋潤</td><td></td><td></td><td></td><td>図尺 A 1/24/10 A 3/31/20</td><td>図面名 金物詳細図(1)</td><td>S-36</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理監理士 一級建築士登録 275483	設計	製図	検査	設計NO.	名称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事	図面NO.					株式会社 高橋建築設計事務所	高橋潤				図尺 A 1/24/10 A 3/31/20	図面名 金物詳細図(1)	S-36				
特記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理監理士 一級建築士登録 275483	設計	製図	検査	設計NO.	名称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事	図面NO.																				
				株式会社 高橋建築設計事務所	高橋潤				図尺 A 1/24/10 A 3/31/20	図面名 金物詳細図(1)	S-36																				



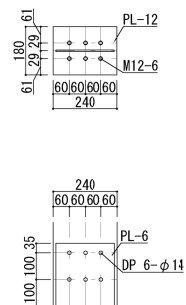
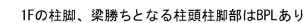
B1536a



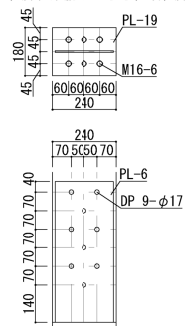
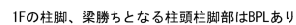
B1536b



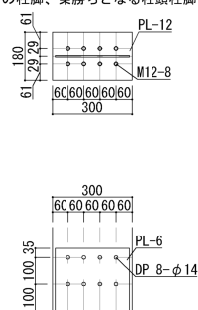
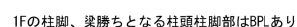
B18a



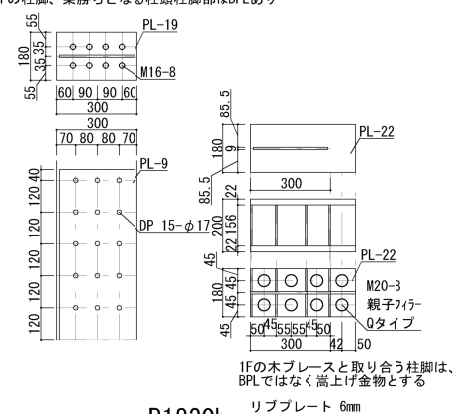
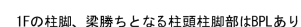
B1824a



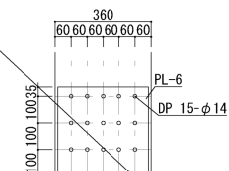
B1824b



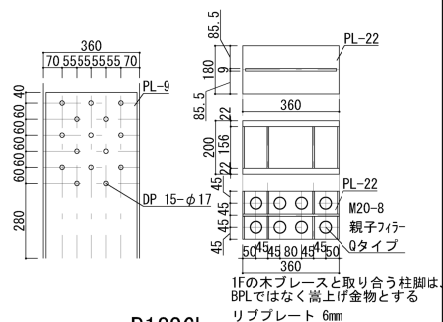
B1830a



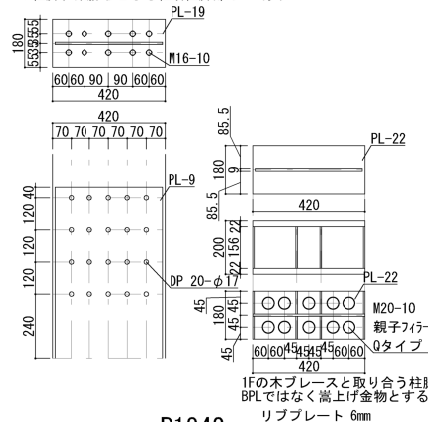
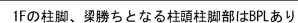
B1830b



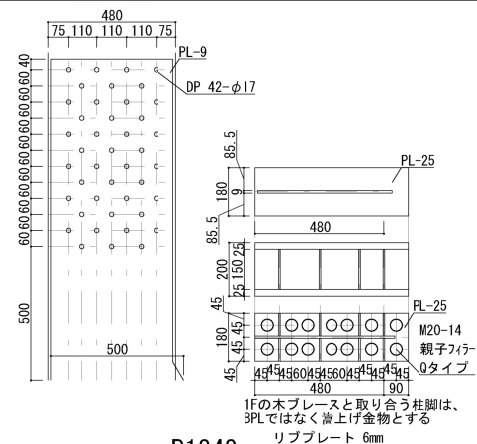
B1836a



B1836b

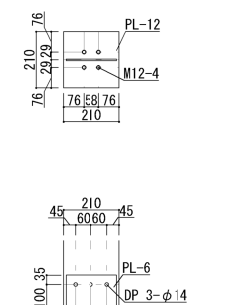
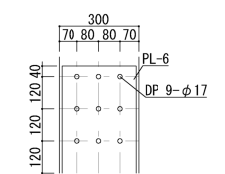
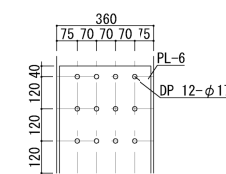
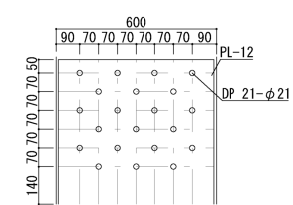
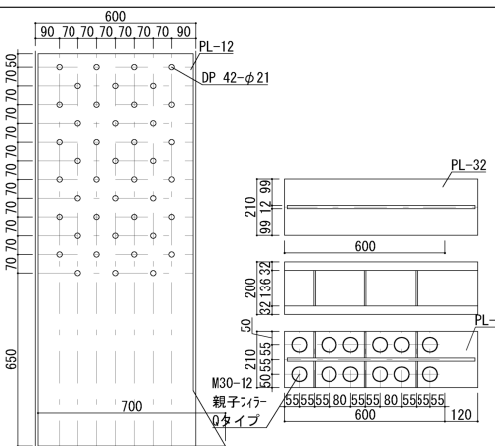
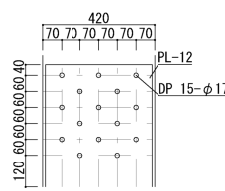


B1842a

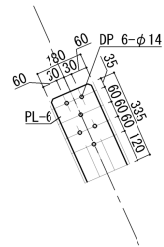


B1848a

- 共通事項
- ・接合部材の材質はSS400とする。
 - ・ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。
 - ・各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。
- ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合部配置の距離・間隔に準拠する。
- 特記なき限り、部材面識の接合部は同じものを使用する。

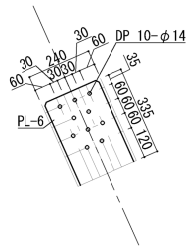
1Fの柱脚、梁勝ちとなる柱頭柱脚部はBPLあり  B21a	 B2130a	 B2136a	 B2160a											
 B2160b リブプレート 6mm	 B2142a													
■共通事項 ・接合部材の材質はSS400とする。 ・ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。 ・各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。 ・ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合具配置の距離・間隔に準拠する。 ・特記なき限り、部材両端の接合部は同じものを使用する。														
特記		測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS			管理技師 一級建築士登録 275483	設計	製図	校閲	設計NO.	名称 会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事	図面NO.
					株式会社 高橋建築設計事務所			高橋潤				図尺 A 1/24/10 A 3/31/20	図面名 金物詳細図(3)	S-38

DP:6-φ13,L165(有効長さL155)
短期許容引張耐力:35.28kN



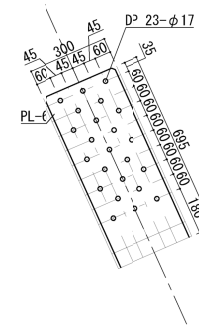
V18

DP:10-φ13,L165(有効長さL155)
短期許容引張耐力:142.14kN



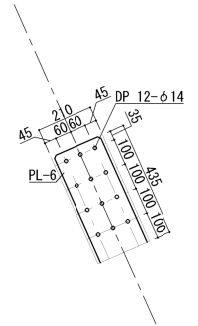
V1824

DP:23- ϕ 16, L175(有効長さ:165)
短期許容引張耐力:366.37kN



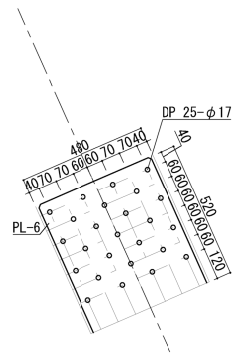
V1830

DP:12-φ13,L165(有効長さL155)
短期許容引張耐力:162.04kN



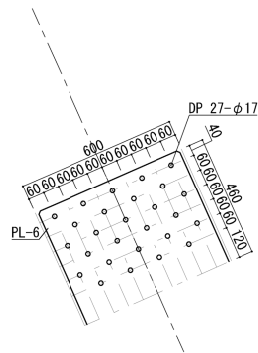
V21

DP:25-φ16, L205 (有効長さL195)
短期許容引張耐力:51.38kN



V2148

DP:27-φ16,L205(有効長さL195)
短期許容引張耐力:552.29kN



V2160

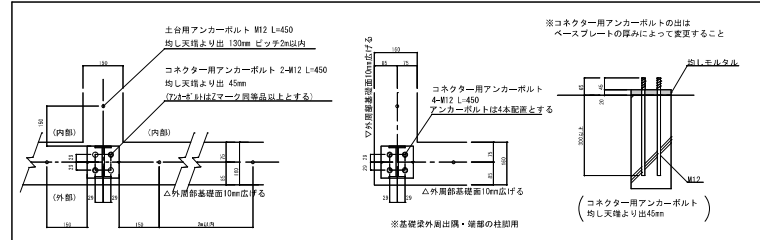
- 共通事項
 - ・ 接合部材の材質はSS400とする。
 - ・ ここに示す接合部と同等以上の耐力を持つこと。
 - ・ 各接合部において、施工上の納まりによるピン・ボルト寸法の変更、プレート形状の変更は可とする。
 - ・ ただし、ピン・ボルトの間隔は「木質構造設計基準・同解説」の接合部配置の距離・間隔に準拠する。
 - ・ 特記なき限り、部材両端の接合部は同じものを使用する。

土間リスト

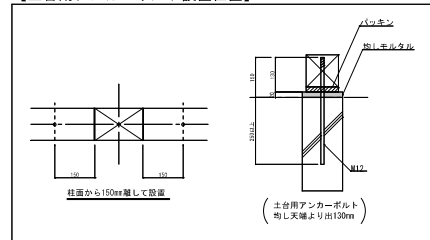
型号	FG 1	FG 2
尺寸	150 (L) × 780 (H)	150 (L) × 700 (H)
断面		
主要尺寸	1-B10	2-B10
安装尺寸	1-B10	2-B10
STEP	100-80/50	100-80/50
数量	4-B10	2-B10
订货名称		

S 1		長辺・短辺方向 D 10 @ 200
-----	--	-----------------------

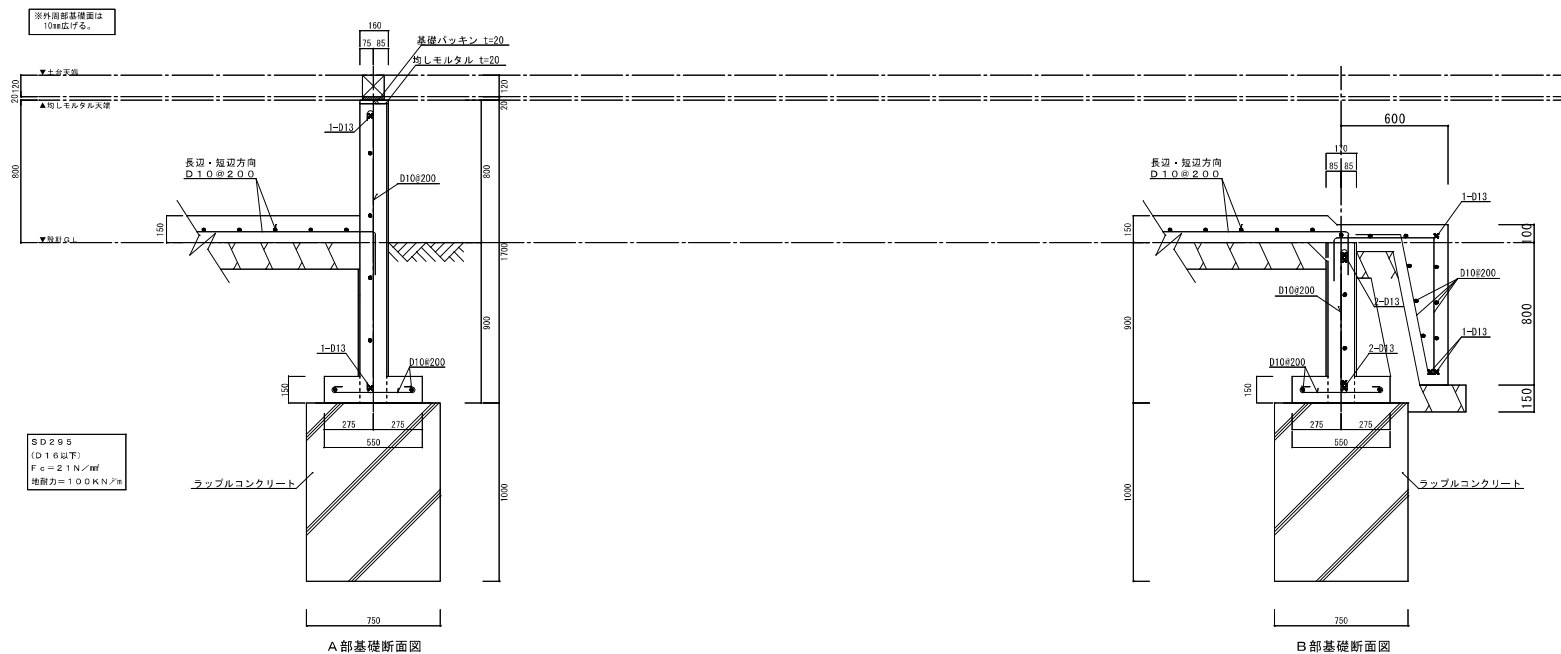
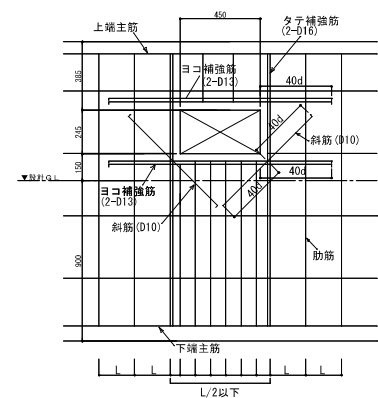
【アンカーボルト配置図】

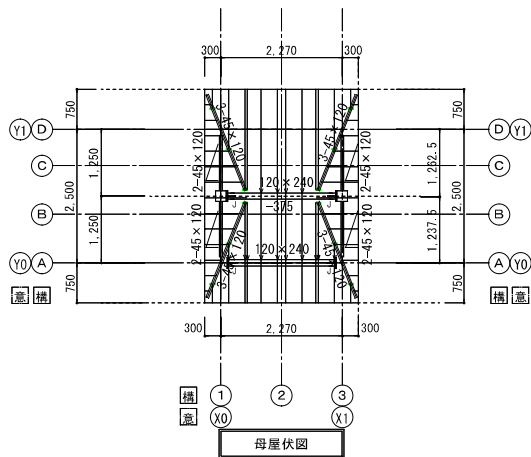


【土台用アンカーボルト設置位置】

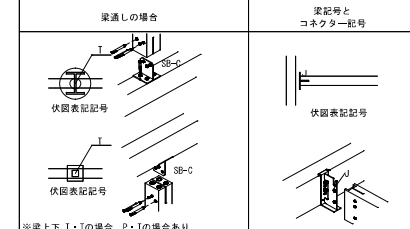


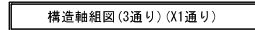
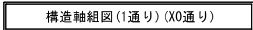
【開口補強配筋図（排気ガラリ）】





頭つなぎ材は2-45×120(杉製材)



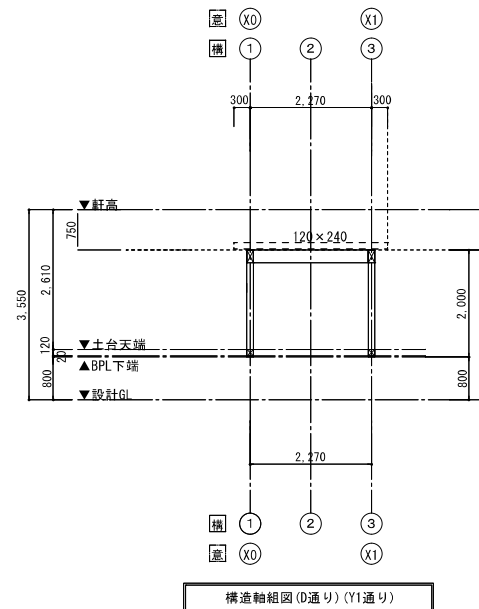
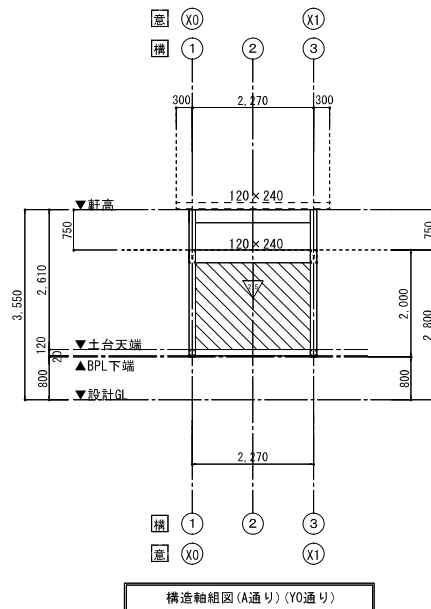


凡例	断面等	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
	2.5等	<大壁例> 2.5倍 (合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用 1/4 (SDB) 9.0mm	外周部：中透り C0504150mm以下 芯材 40mm × 60mm 以下、MOD500mm 以下	

The diagram shows a cross-section of a bridge pier. Key features include:

- Main Pier Section:** A central rectangular section labeled "主桥[20×120]" with a width of 120.
- Top Structure:** A top slab or deck labeled "顶板[120×70]" with a width of 70.
- Left Side Structure:** A side wall or abutment labeled "左桥台[20×120]" with a width of 20.
- Dimensions:** The total height from the base to the top of the main pier is 8000. The height from the base to the top of the left side structure is 1500.
- Labels:**
 - "▼桥面土台标高" indicates the ground level at the bridge deck.
 - "▲BPL下缘" indicates the bottom edge of the BPL (Bridge Pier Line).
 - "▼BPL下缘(-800)" indicates the elevation of the BPL bottom edge at -800.
- Structural Details:** Reinforcement bars are shown extending from the top of the main pier section down to the base.

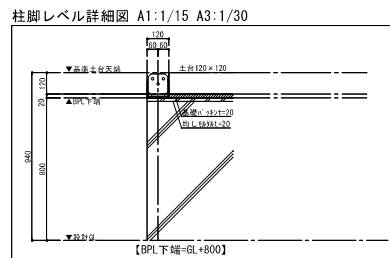
KES120仕様
 土台は120×120（桧製材）
 指定なき枝は120×120（唐松集成材対称異等級E95-F70）
 指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F70
 小屋梁は120×120（唐松集成材対称異等級E95-F70）
 ビス止め火打ち金物は認定金物
 指定なき母屋の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F70
 垂木は45×120@303（杉製材）
 ㊦㊦ 垂木45×120は軒先から㊦303
 ㊦㊦㊦㊦㊦㊦有り
 頭つなぎ枝は2-45×120（杉製材）



材料	釘	ビス
構造用合板	N50	φ200程度
石こうボード	GNF40またはGNC40	φ200程度

凡例	断面事	各面の仕様	面材の仕様	釘の仕様	納まり参考図
	2.5号	<大壁例> 2.0号 (合板)	構造用合板 9.0mm 又は 構造用 44(SB) 9.0mm	外周部・中通り 050R150mm以下 変形45mm・050mm以下、050R200mm以下	

※石膏ボードの真壁・床勝の受材は見付30mm×60mm以上 釘N75@200mm以下留めとする。
※すべての仕様は床勝・壁勝どちらも対応可とする。



RESコネクター凡例						
柱記号と コネクター記号	柱通しの場合			梁通しの場合		梁記号と コネクター記号
その端から上に伸びる柱 伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号
その端で止まる柱 伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号	伏図表記記号

1F階高：2610.0

壁合板910×1820×9mm

基礎パッキン 厚さ20mm

野地合板910×1820×12mm

KE120仕様
土台は120×120（桧製材）
指定なき柱は120×120（唐松集成材対称異等級E95-F270）
指定なき梁の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
小屋束は120×120（唐松集成材対称異等級E95-F270）
ビス止め火打ち金物は認定金材
指定なき母屋の樹種は唐松集成材対称異等級E95-F270
垂木は45×120@303（杉製材）
ケナシ 垂木45×120は軒先から@303
ケナシ ケン有り
頭つなぎ材は2-45×120（杉製材）

特 記	測量年月日	作成年月日	訂正年月日	TAKAHASHI ARCHITECTS-ENGINEERS	管理建築士一般建築士登録 275493	設 計	製 図	検 査	設計NO.	名 称	図面NO.
				 株式会社 高 橋 建 築 設 計 事 務 所	高 橋 潤					会津森林管理署南会津支署南会津宿舍新築工事	S-45
										図尺 A3 5/81.9 A3 5/81.9	

